

平成20年11月18日



株式会社モンテローザ

(本社 東京都武蔵野市中町一丁目17番3号)

より安全・安心でより良質な新鮮野菜をモットーに

国内農業生産事業へ参入

～ 茨城県牛久市で特定法人貸付事業制度を利用 ～

株式会社モンテローザ（本社 東京都武蔵野市、代表取締役 大神輝博）の100%出資子会社である有限会社モンテローザファーム（本店 東京都武蔵野市、代表取締役 大神輝博）は、特定法人貸付事業制度を利用し、平成20年11月から、茨城県牛久市より約2ヘクタールの農地を賃借して、農場の運営を開始いたします。

農業事業参入の主旨は「より安全・安心でより良質な新鮮野菜をお客様に提供する」ことです。同農場では、水菜、レタス、さつまいも、大根、人参等の栽培を行います。

これらの野菜は、当社が展開する「白木屋」「魚民」「笑笑」などの店舗でサラダなどに使用いたします。また、さつまいもは当社プライベートブランドの焼酎の原料としても使用いたします。

子会社を通じて農場の運営に携わることで、農場の状況や農作物の栽培方法まで管理し、自ら安全・安心を宣言できる野菜を当社店舗のお客様に提供いたします。そして同農場では、健康志向のニーズに対応できるよう有機JAS認証取得を予定しております。

さらに、同農場は当社従業員・新入社員などの研修の場としても利用いたします。農作業を体験することで、食べ物大切さを学び、また、食に関する知識の向上を図ります。

今回は、茨城県牛久市の遊休地を活用することから、牛久市を始め茨城県の耕作面積の維持・拡大につながると考えております。今後も、日本国内の農業の承継そして食糧自給率の向上に貢献できるよう、また、安全・安心でおいしい野菜を提供するため、段階的に農業事業を拡大していく予定です。

